



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社松屋アールアンドディ 上場取引所 東  
 コード番号 7317 URL https://matsuyard.co.jp  
 代表者（役職名）代表取締役社長CEO（氏名）後藤秀隆  
 問合せ先責任者（役職名）常務取締役CFO経営管理部長（氏名）松川浩一（TEL）0779-66-2096（代表）  
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,932	18.5	1,062	72.3	1,091	76.3	796	82.2
2024年3月期中間期	4,162	44.9	616	204.7	618	113.0	437	113.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,008百万円（11.9%） 2024年3月期中間期 901百万円（33.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	37.49	37.05
2024年3月期中間期	20.67	20.43

（注）当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「1株当たり中間純利益」および「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	11,005	6,159	56.0
2024年3月期	9,922	5,193	52.3

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 6,159百万円 2024年3月期 5,193百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	2.50	2.50

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	9.1	1,800	40.3	1,800	37.7	1,400	46.9	65.91

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	21,253,200株	2024年3月期	21,223,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	712株	2024年3月期	712株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	21,241,500株	2024年3月期中間期	21,143,939株

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「期中平均株式数」は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、インバウンド需要拡大、企業収益の改善等により経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移しました。一方、収束の見えないロシア・ウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化による資源・原材料価格の高騰、さらには急激な為替変動も加わり依然として経済活動の先行きについて不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは昨年9月に稼働を開始したMatsuya R&D (Vietnam) Co., Ltd.の新工場が順調に操業を続けており、従来レンタルしていた5工場を集約した自社工場建設によるコストダウン効果が現れてきております。

メディカルヘルスケア事業における血圧計腕帯では、期初に顧客の在庫調整により一時的に受注数量が減少したものの、その後は回復し好調に推移しました。

セイフティシステム事業における縫製自動機では、前期に引き続きインド向けエアバッグ用製造設備の売上が好調なことに加え、中国向けレーザー裁断機売上也収益に貢献しました。カーシート及びエアバッグについては、特にカーシートにおいてベトナムでの新規取引により生産が好調に推移しました。

そのほか、リハビリロボット「Luna EMG」については病院やリハビリセンターなどにテスト出荷するとともに患者様からエビデンスを集めておりますが、同ロボットには楽しみながらリハビリできるという機能があるため、良好な評価をいただいております。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高4,932,198千円(前年同期比18.5%増)、営業利益1,062,577千円(前年同期比72.3%増)、経常利益1,091,294千円(前年同期比76.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は796,419千円(前年同期比82.2%増)となり、当中間連結会計期間の営業利益が前年同期比で1.72倍、経常利益が前年同期比で1.76倍、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1.82倍となりました。

なお、当中間連結会計期間における各セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### (メディカルヘルスケア事業)

メディカルヘルスケア事業につきましては、血圧計腕帯においては為替相場が円安に推移したほか、ベトナム新工場稼働による投資効果や工程自動化の推進によるコストダウンを図れたことにより、増収増益に推移しました。

以上の結果、売上高は2,983,269千円(前年同期比4.7%増)、セグメント利益は924,266千円(前年同期比33.4%増)となりました。

#### (セイフティシステム事業)

セイフティシステム事業における縫製自動機につきましては、特に、インド向けにエアバッグ用製造設備を、中国向けに大型レーザー裁断機などを大口受注したことにより売上が増加しました。また、カーシートやエアバッグ等の縫製品について、取引先の一部で顧客側の国内工場生産停止の影響を受けたものの、ベトナム新工場におけるカーシートの新規取引により生産が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は1,872,145千円(前年同期比44.9%増)、セグメント利益は265,206千円(前年同期比327.8%増)となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、産業資材メーカー向け設備としてレーザー裁断機やナイフ裁断機を納入しました。

以上の結果、売上高は76,782千円(前年同期比237.1%増)、セグメント利益は25,407千円(前年同期比194.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて610,891千円増加し、7,583,920千円となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が28,429千円、商品及び製品が259,266千円、仕掛品が82,726千円、それぞれ減少したことに対して、現金及び預金が1,048,900千円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて472,372千円増加し、3,421,988千円となりました。これは連結子会社 Matsuya R&D (Vietnam) Co., Ltd. において将来の事業拡大を視野に入れた土地使用権の取得により、その他無形固定資産が337,330千円増加したことなどによるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,083,264千円増加し、11,005,908千円となりました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて29,633千円増加し、2,830,891千円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が50,960千円、未払金が76,238千円、それぞれ減少したことなどに対して、短期借入金40,000千円、未払法人税等が47,658千円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて88,146千円増加し、2,015,892千円となりました。これは長期借入金70,000千円の増加が主要因であります。

この結果、当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて117,780千円増加し、4,846,784千円となりました。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は6,159,124千円と、前連結会計年度末に比べて965,483千円増加となりました。これは利益剰余金の配当により53,056千円減少したものの、譲渡制限付株式報酬による新株発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,058千円、為替換算調整勘定が212,004千円増加したこと、並びに親会社株主に帰属する中間純利益を796,419千円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.3%から56.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は3,217,181千円と、前連結会計年度末に比べ1,045,903千円増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,382,961千円(前年同期は261,647千円の獲得)となりました。

これは主として、未払金の減少が160,585千円、法人税等の支払いが191,140千円あったことに対して、税金等調整前中間純利益が1,091,294千円、棚卸資産の減少が414,736千円あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は413,736千円(前年同期は546,139千円の使用)となりました。

これは主として、無形固定資産の取得による支出が299,510千円、保険積立金の積立による支出が100,000千円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は33,665千円(前年同期は145,601千円の使用)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出が64,270千円、配当金の支払いが53,060千円、リース債務の返済による支出が21,777千円あったことに対して、短期借入金の増加が40,000千円、長期借入れによる収入が130,000千円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期業績予想につきましては、2024年5月15日付で「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した業績予想を修正しました。

詳細については、本日公表した「2025年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,250,519	3,299,420
受取手形、売掛金及び契約資産	1,734,369	1,705,940
商品及び製品	862,568	603,302
仕掛品	369,121	286,395
原材料及び貯蔵品	1,482,040	1,469,152
その他	274,408	219,710
流動資産合計	6,973,029	7,583,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,484,115	1,497,177
機械装置及び運搬具(純額)	165,124	160,398
土地	122,240	118,229
建設仮勘定	9,402	47,162
その他(純額)	198,121	172,188
有形固定資産合計	1,979,003	1,995,156
無形固定資産		
土地使用権	937,132	954,163
その他	9,022	346,353
無形固定資産合計	946,154	1,300,517
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,902	2,593
その他	18,554	123,720
投資その他の資産合計	24,456	126,314
固定資産合計	2,949,615	3,421,988
資産合計	9,922,644	11,005,908

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	503,065	452,104
電子記録債務	106,452	103,824
短期借入金	1,060,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	120,410	116,140
未払金	739,565	663,327
未払法人税等	100,585	148,243
賞与引当金	41,244	69,755
その他	129,934	177,495
流動負債合計	2,801,257	2,830,891
固定負債		
長期借入金	1,474,000	1,544,000
退職給付に係る負債	137,273	138,431
繰延税金負債	55,464	108,360
その他	261,007	225,100
固定負債合計	1,927,746	2,015,892
負債合計	4,729,003	4,846,784
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,488	26,546
資本剰余金	511,385	516,443
利益剰余金	3,994,994	4,738,357
自己株式	△479	△479
株主資本合計	4,527,388	5,280,867
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	666,252	878,256
その他の包括利益累計額合計	666,252	878,256
純資産合計	5,193,641	6,159,124
負債純資産合計	9,922,644	11,005,908

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,162,857	4,932,198
売上原価	3,067,469	3,374,658
売上総利益	1,095,387	1,557,540
販売費及び一般管理費	478,812	494,962
営業利益	616,575	1,062,577
営業外収益		
受取利息	1,662	3,115
受取配当金	0	0
為替差益	34,414	38,981
その他	1,986	4,306
営業外収益合計	38,064	46,404
営業外費用		
支払利息	18,513	16,002
その他	17,238	1,685
営業外費用合計	35,751	17,688
経常利益	618,888	1,091,294
税金等調整前中間純利益	618,888	1,091,294
法人税、住民税及び事業税	124,741	238,430
法人税等調整額	57,035	56,444
法人税等合計	181,776	294,874
中間純利益	437,111	796,419
親会社株主に帰属する中間純利益	437,111	796,419

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	437,111	796,419
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	464,335	212,004
その他の包括利益合計	464,335	212,004
中間包括利益	901,447	1,008,423
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	901,447	1,008,423

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	618,888	1,091,294
減価償却費	162,062	94,874
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,138	27,426
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,968	967
受取利息及び受取配当金	△1,663	△3,116
支払利息	18,513	16,002
為替差損益(△は益)	△4,935	18,464
売上債権の増減額(△は増加)	△402,508	68,616
棚卸資産の増減額(△は増加)	△168,752	414,736
仕入債務の増減額(△は減少)	41,895	△82,322
未払金の増減額(△は減少)	145,919	△160,585
未払又は未収消費税等の増減額	24,717	86,810
その他	△1,895	15,971
小計	468,347	1,589,138
利息及び配当金の受取額	1,663	3,156
利息の支払額	△20,365	△18,192
法人税等の支払額	△187,997	△191,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,647	1,382,961
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,528	△20,528
定期預金の払戻による収入	13,928	17,531
有形固定資産の取得による支出	△531,438	△12,581
無形固定資産の取得による支出	△8,071	△299,510
保険積立金の積立による支出	—	△100,000
その他	△28	1,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△546,139	△413,736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,620,000	40,000
長期借入れによる収入	1,620,000	130,000
長期借入金の返済による支出	△11,642	△64,270
配当金の支払額	△26,384	△53,060
リース債務の返済による支出	△114,554	△21,777
その他	6,980	2,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,601	33,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	122,657	43,012
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△307,435	1,045,903
現金及び現金同等物の期首残高	2,318,909	2,171,278
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,011,473	3,217,181

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

2023年6月29日開催の定時株主総会の決議に基づき、2023年7月14日付で減資の効力が発生したこと、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬による新株の発行が行われたことにより、当中間連結会計期間において、資本金が292,993千円減少、資本剰余金が304,552千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が15,779千円、資本剰余金が505,676千円となっております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857	—	4,162,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857	—	4,162,857
セグメント利益	692,726	61,991	8,633	763,352	△146,776	616,575

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,776千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,983,269	1,872,145	76,782	4,932,198	—	4,932,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,983,269	1,872,145	76,782	4,932,198	—	4,932,198
セグメント利益	924,266	265,206	25,407	1,214,880	△152,303	1,062,577

(注) 1. セグメント利益の調整額△152,303千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。